

臼田協働まちづくりWS 活カグループの提言(案)

Ⅱ 便利で活力のあるまちづくり

1 経済

臼田地区は、佐久総合病院を中心としたコンパクトシティエリアで「医療・健康・福祉のまち」として、経済の活性化を目指し、特色あるまちづくりをすべきである。

- (1) 日常生活の衣食住のニーズを地元でまかなえるような各種店舗の充実
 - ① 消費者のニーズを把握するため、住民アンケートなどを実施し、必要なモノ・サービスの充足を地元商店街に依頼すべきである。
 - ② 商店街に点在する空き店舗対策として、市のホームページ等に情報を掲載する。商店街は、自らの店を魅力あるものにすべく、住民ニーズの把握に努めることが必要である。
 - ③ 買い物弱者・交通弱者対策として、乗り合いタクシー・巡回ミニバスの整備をすべきである。
- (2) 医療・健康・福祉など佐久総合病院に関連した特色ある店舗の充実
 - ① 医療・健康・福祉など、医療の周辺産業の積極的誘致と、空き店舗への優先的入居を検討すべきである。
 - ② 医療の周辺産業に関わる店舗は、優先的に病院周辺へ集約し、医療・健康・福祉のまちを印象づけることが望ましい。
 - ③ 佐久総合病院内で、使用する食材・資機材を地元事業者で賄い、院内施設のメンテナンスなども地元事業者が請負うことが必要である。また、地元事業者は、病院のニーズに応えられるようスキルアップをすべきである。
- (3) コンパクトシティ周辺部の活性化
 - ① 地域外からの来訪者が、「また来たい」と思えるような楽しみ・ゆとりのある施設、複合的オアシス広場をコンパクトシティ内に設置することが必要である。この広場は、臼田地区の総合的な情報の発信源となり、観光案内所や高速バス発着所、また道の駅・まちの駅的な地元農産物等の直売所を併設することが必要である。
 - ② 複合的オアシス広場の観光案内所では、来訪者に臼田地区の観光案内、宿泊案内を行い、周辺部にも集客を促し、交流人口の創出に寄与することが必要である。
 - ③ 病院入院患者の付き添い者も利用できる宿泊施設の整備や、誰でも気軽に寄れるワンコイン銭湯の設置が望ましい。

(4) 商工会の活動とまちづくりへの関わり

- ① 会員個々や支部ごとの事業の活動だけでなく、臼田町商工会として更なる積極的なまちづくり、まちおこしにつながる活動が必要である。
- ② 特に商業部門において、地産地消の推進、空き店舗貸出仲介、買い物弱者対策等、消費者ニーズに応える事業展開が必要である。

2 観光

臼田地区は、「医療・健康・福祉のまち」としてアピールするとともに、既存の観光資源を活かし、関係者が一体となって観光情報を発信すべきである。また、今後コンパクトシティ内から周辺部へのアクセスを整備し、佐久総合病院来院者を含めた臼田地区への来訪者が、「また来たい」と思い、憩うことのできる観光資源をアピールすることが必要である。

- (1) 龍岡城五稜郭・川村吾蔵記念館・新海三社神社・稲荷山・パラボナアンテナ等既存する観光資源を活かして、ウォーキング・自転車・自動車等で周遊できるコースを設定し、行政だけで紹介するのではなく、佐久総合病院、臼田町商工会、JA、商店街、JR等あらゆる場所で情報発信すべきである。また、周遊コースはそれぞれ色別のカラー舗装をすることが望ましい。
- (2) 観光施設、観光資源等の案内看板、表示板を統一なデザインにし、遠方者や初めての来訪者等がどちらから訪れてもわかりやすいように設置すべきである。また、臼田スタードームへの案内看板等は、夜でも見やすいものにすることが必要である。
- (3) 商工会三反田支部において実施されている「まちなかレンタサイクル事業」を、臼田地区全体に広め、観光客の利便性を向上させ、滞在時間の延長による地区住民との触れ合い、商店街への流入等を図ることが必要である。
- (4) 人間ドッグ受診者を対象にした、臼田地区の観光ツアーを関係団体と協力して計画し、国内はもとより、中国・韓国等外国人も対象として交流人口の創出を図ることが望ましい。
- (5) 臼田地区の先人である、大給恒・川村吾蔵・若月俊一・井出一太郎・田河水泡・丸岡秀子・竹内好等を紹介する記念館等を設置することが望ましい。

3 道路・駐車場

コンパクトシティ内の駐車場は、佐久市臼田支所、郵便局、銀行、佐久総合病院、商店等に訪れた方々、誰もが利用できる共有の駐車場（立体駐車場）として整備し、併せてシティ内の道路・歩道の整備をすべきである。

- (1) 河川敷駐車場は廃止し、自然公園として整備すべきである。
- (2) 臼田中央ビルは解体し、共有の駐車場として整備するとともに、ビル西側の佐久総合病院所有の駐車場も並列して、共有駐車場として整備すべきである。
- (3) 佐久総合病院本院の敷地内に整備予定の患者用駐車場は、佐久総合病院前交差点から進入するよう整備すべきである。
- (4) 病院所有土地や空き医師住宅地等の有効利用を検討し、複数の患者用駐車場を整備することが必要である。
- (5) 各駐車場からシティ内各所への歩道は、できるだけ広く、段差がなく、また休息できるベンチを整備することが必要である。特に車いすで安心して通行できるように歩道部分を、カラー舗装等で特徴づけをし、明るい町なみに整備することが必要である。

4 医療・健康・福祉

臼田地区は、「世界最高健康都市」のモデル地区としてその実現に向けた具体的な事業を検討し、新たなまちづくりを進めるべきである。

- (1) 高齢者向け有料住宅の誘致、建設等を推進
 - ① 「医療・健康・福祉のまち」として、コンパクトシティ内に高齢者向け有料住宅の誘致・建設を推進し、安心して住めるまちを内外に発信すべきである。
 - ② 勝間園は、佐久総合病院周辺に移転することが必要である。
 - ③ 佐久総合病院、老人福祉施設等への介護スタッフ、配食サービス等を提供できるように、臼田地区内の関連事業者は更なるスキルアップを図ることが必要である。
- (2) 子どもへのケア、働く親世代の子育てサービスの更なる充実
 - ① コンパクトシティ内、あるいは佐久総合病院内に、子どもの一時預かり所等を設置し、来院者が安心して受診やお見舞いができるサービスの充実を図ることが望ましい。
 - ② コンパクトシティ内に、自習室やミニ図書館の整備された子どもたちのコミュニティ施設を整備することが望ましい。

(3) 佐久総合病院と地域住民との更なる連携

- ① 佐久総合病院本院基本構想実現のために、行政や地域住民と更なる連携を深めて再構築を進めることが必要である。
- ② 病院内で使用する食材は、可能な限り地元産の農産物を使うことが必要である。
- ③ 老人福祉施設や高齢者有料住宅等への訪問看護のフォローをすることが必要である。
- ④ 看護専門学校の拡充と各医療職の有資格者を養成する部門を創設し、地域の将来を担う医療関係者の育成が必要である。
- ⑤ 佐久総合病院本院のロビー・エレベーターホールなど、多くの人が行き交う場所には、臼田高等学校生徒の作成したステンドグラス等を利用することが望ましい。